

# 2012年 一般社団法人日本ヨーガ療法学会第10回研究総会

## ◎演題募集 (2011年12月31日必着)

- ポスター発表は、発表3分、質疑応答2分(計5分)ですが、応募数によって増減されます。
- 応募される方は、住所・電話番号・FAX・Eメールアドレスと共に演題名、発表者名(口演者には○印)、共同演者氏名を明記して、EメールまたはFAXで事務局にお申込み下さい。
- 発表抄録はEメールで学会事務局にお送り下さい。その内容を学会学術研究部会で検討の上、採否が決まります。(守秘義務に注意)

・演題申し込み期限 2011年12月31日(土)

・発表抄録原稿提出期限 2011年1月15日(日) (必着)

### 申込先

日本ヨーガ療法学会事務局

郵送の宛先 〒683-0842 鳥取県米子市三本松1-2-24 問合せ 0859-32-1557

FAX送信先 FAX 0859-22-1446 E-mail [yoga@yogatherapy.jp](mailto:yoga@yogatherapy.jp)

### <抄録の形式>

#### 〇〇病に対するヨーガ療法指導

〇〇ヨーガ療法研究会 ヨーガ太郎

1. はじめに 現代社会に生きる人々は、生活の快適さを求め、〇〇〇。心身のストレスにより体調に不調をきたした人に、ヨーガ療法指導を行い症状が改善されつつある症例を報告する。

2. 症例 【実習者】〇〇歳 男性 事務職 【主訴】肩凝り、頭痛 【家族歴】父：80歳 高血圧、母：78歳 腰痛 【診断名】X年(〇歳)11月 高血圧、A内科 B医師により診断された。【既往症】9歳：虫垂炎 【現病歴】〇〇〇 【生育・生活歴】〇〇〇 【ヨーガ療法歴】X年(〇歳)5月から8ヶ月間 自宅 月3回 1回90分 【症状の変化】開始時(X年5月)〇〇〇〇 【本人の語りに基づく現状報告】〇〇〇〇

3. 考察 責任感の強い性格は仕事に対する過剰の頑張りがストレスとなり、自律神経の乱れから心身の不調に繋がったと思われる。心身の調和を図るのに、ヨーガ療法は効果的だと思われる症例であると思う。

A4版 余白 上下25mm 左右25mm 1頁以内  
1行50文字以内、1頁45行以内

表題 MS明朝体太字 12ポイント

名前 MS明朝体 10.5ポイント

一行アケル

1. はじめに } MS明朝体太字 10.5ポイント  
2. 症例 }  
3. 考察 }

本文 MS明朝体9ポイント